

プラスチック歯車

チバダイスが研究所設立

開発から製造まで 八潮(埼玉)に一貫体制

チバダイス(東京都葛飾区、千葉英樹社長、03・3696・4441)は、付加価値の高いプラスチック歯車を開発する「プラスチックギアシステム研究所」を設立した。受託開発から試作品製造まで、一貫して調べることができる体制とした。海外から安いプラスチック歯車が数多く輸入される中、チバダイスは同研究所を足がかりとし、研究開発型企業への転身を図る。

研究開発で輸入品対抗

受託開発も行い、独立させた。研究開発結果について視野に入れている。また、可能な限り学会など

プラスチックギアシステム研究所の所長には青山学院大学で長年プラスチック歯車の研究をしてきた武士保貞助氏を招いた。同研究所は、チバダイスの八潮工場(埼玉県八潮市)内に設置し、研究開発から金型製作、歯車製造まで一貫生産できる体制を確立した。

当初はチバダイス向けの新しい品質や性能向上試験を主要業務とする。ゆくゆくは樹脂メーカーや歯車製作会社などから、プラスチック歯車の騒音・耐久性試験や性能評価、

中小政策・経営

景況DI 0.2ポイント改善

6月の中小月次調査

全国中央会

全国中小企業団体中央会が20日発表した6月の中小企業月次景況調査によると、全産業ベースの景況動向指数(DI)は前月と比べ雇用人員は悪化したものの、売上高を中心に各項目とも小幅ながら改善が進んだ。

業種別にみると、景況

DIは製造業で化学ゴム上にのびた。今後取り組むべき事項では、新規

を通じて発表し、歯車業界の活性化につなげる。プラスチック歯車は、複写機やDVDレコーダー、自動車のパワーステアリングなどの広範囲の領域で使用されている。開発力を強化し、さらなる低騒音化や耐熱化、小型化、高強度化を進め、今よりも用途を拡大したい(千葉社長)とする。

業種が伸びた。

半面、電気機器で6・4、繊維・同製品で3・7など7業種で悪化し、トータルでは0・4改善化の対15・3とな

業の4割が
各開拓に力
が「経営実態調査」